

2019年9月19日

国立大学法人 富山大学
附属病院長 林 篤志 殿

富山大学教職院組合
中央執行委員長 大野 圭介

附属病院医師当直の変更に関する質問状

現在附属病院で検討が進められている医師当直の変更に関し、複数の関係者より意見が寄せられました。

これらによれば、検討されている変更は

- ・ 病院スタッフに対する説明なしに進められ、
- ・ 「働き方改革」に逆行する内容であり（オンコールであっても結局カルテの参照が必要となって、病院へ行くことになる）
- ・ 勤務条件の不利益変更につながる（夜間勤務にあたるスタッフ全員の負担が増す一方、手当では引き下げられ、給与収入が減る）
- ・ その結果、高度・急性期を扱う大学病院としてのパフォーマンスと社会的評価を下げうる

ものであり、組合としても懸念を深めています。

つきましては、以下の点につき質問しますので、速やかにご回答ください。

- (1) 医師当直の変更について、いつの実施を念頭に置いているか。実施延期の予定はあるか。
- (2) 当該変更について、病院スタッフへの説明を行い、実際にオンコールを担当する医師の意見を聴いたか。今後行う予定はあるか。
- (3) 上記諸懸念に対して病院側はどのように考えているか。

なお、本件は、10月1日に開催される病院長懇談会の席上でも扱う予定である旨、附言いたします。